

令和7年度

事業報告書

学校法人 福山大学

令和7年度 学校法人福山大学事業報告書

令和8年6月17日

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名 福山大学
理事長名 鈴木 省三
住 所 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
電話番号 084-936-2111
FAX 番号 084-936-2213
U R L https://www.fukuyama-u.ac.jp/Information_disclosure/
設置大学 福山大学 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
福山平成大学 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
※学部・学科等については3頁に記載のとおり。

(2) 建学の精神

【福山大学】

福山大学は、地域社会に広く開かれた大学として、学問にのみ偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行う。

【福山平成大学】

福山平成大学の建学の理念は、あくまでも人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育を行うことである。

(3) 学校法人の沿革

昭和50年1月10日	学校法人福山大学及び福山大学設置認可。
昭和50年4月1日	福山大学開学。経済学部（経済学科）、工学部（電子・電気工学科、土木工学科）開設。
昭和51年4月1日	福山大学工学部建築学科開設。
昭和54年4月1日	福山大学大学院工学研究科（電子・電気工学専攻修士課程、土木工学専攻修士課程）開設。
昭和57年4月1日	福山大学薬学部（薬学科、生物薬学科）開設。
昭和61年4月1日	福山大学工学部情報処理工学科、生物工学科開設。
昭和62年4月1日	福山大学大学院薬学研究科（医療薬学専攻修士課程）開設。
平成元年4月1日	福山大学経済学部経営情報学科、工学部食品工学科開設。
平成2年4月1日	福山大学大学院工学研究科（生物工学専攻 修士課程）開設。
平成3年4月1日	福山大学工学部機械工学科開設。福山大学大学院経済学研究科（経済学専攻修士課程）開設。福山大学大学院工学研究科（情報処理工学専攻修士課程）開設。
平成5年12月21日	福山平成大学設置認可。

平成 6 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科(建築学専攻修士課程)開設。 福山平成大学開学。経営学部(経営情報学科、経営法学科、経営福祉学科)開設。
平成 7 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科「生物工学専攻(修士課程)」を「生命工学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院薬学研究「医療薬学専攻(修士課程)」を「医療薬学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院工学研究科(機械工学専攻修士課程)、工学研究科(電子情報工学専攻博士課程)、工学研究科(生命工学専攻博士後期課程)、薬学研究科(医療薬学専攻博士後期課程)開設。
平成 8 年 4 月 1 日	福山大学経済学部国際経済学科、大学院工学研究科(地域空間工学専攻博士課程)開設。
平成 10 年 4 月 1 日	福山大学工学部海洋生物工学科、大学院工学研究科(設計生産工学専攻博士課程)開設。
平成 11 年 4 月 1 日	福山大学工学部「土木工学科」を「建設環境工学科」に「食品工学科」を「応用生物科学科」に名称変更。
平成 12 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部人間文化学科、同環境情報学科開設。 福山平成大学大学院経営学研究科経営情報学専攻修士課程、同経営法学専攻修士課程開設。
平成 14 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部(生物工学科、応用生物科学科、海洋生物工学科)開設。
平成 16 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部心理学科開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科、健康スポーツ科学科開設。
平成 18 年 4 月 1 日	福山大学経済学部税務会計学科、薬学部薬学科(6年制)開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻、同幼児保育学専攻開設。
平成 19 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科、工学部建築・建設学科開設。福山大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻修士課程開設。 福山平成大学看護学部看護学科開設。
平成 20 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部生命栄養科学科開設、同生命工学部海洋生物工学科を海洋生物科学科に名称変更。 福山平成大学福祉健康学部こども学科開設。同経営学部経営情報学科を経営学科に名称変更。
平成 21 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・電気工学科を電子・ロボット工学科に名称変更。 福山平成大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程、看護学研究科看護学専攻修士課程開設。
平成 23 年 4 月 1 日	福山平成大学助産学専攻科開設。
平成 24 年 4 月 1 日	福山大学大学院薬学研究科医療薬学専攻博士課程(4年制)開設。
平成 26 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・ロボット工学科をスマートシステム学科に、工学部建築・建設学科を建築学科に名称変更。
平成 28 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科を人間文化学部メディア・映像学科に名称変更。
令和 6 年 4 月 1 日	福山大学工学部スマートシステム学科を工学部電気電子工学科に、生命工学部生物工学科を生命工学部生物科学科に、生命工学部生命栄養科学科を生命工学部健康栄養科学科に名称変更。

(4) 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況(令和7年5月1日現在)

【福山大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経済学部	経済学科	360	180	167	700	652
		国際経済学科	54	40	22	180	101
		税務会計学科	69	50	47	200	165
	人間文化学部	人間文化学科	108	50	53	200	186
		心理学科	163	70	76	240	263
		メディア・映像学科	79	50	54	200	201
	工学部	電気電子工学科	30	30	12	120	54
		建築学科	111	70	58	280	221
		情報工学科	175	60	62	220	225
		機械システム工学科	54	50	17	200	66
	生命工学部	生物科学科	63	50	20	200	83
		健康栄養科学科	69	40	31	180	106
		海洋生物科学科	361	110	135	420	449
	薬学部	薬学科(6年制)	297	110	92	820	609
	計		1,993	960	846	4,160	3,381
大学院	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	4	8	4	16	6
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	11	10	7	20	10
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	2	2	2	4	3
		修士課程 建築学専攻	1	3	1	6	3
		修士課程 情報処理工学専攻	2	2	2	4	5
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0
		博士前期課程 生命工学専攻	2	8	1	16	3
		修士課程、博士前期課程 計	22	35	17	70	30
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	0	2	0	6	0
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0
		博士後期課程 生命工学専攻	0	4	0	12	1
	薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	1	3	1	12	4
	博士課程、博士後期課程 計		1	14	1	45	5
	計		23	49	18	115	35
	合 計		2,016	1,009	864	4,275	3,416

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経営学部	経営学科	99	50	46	200	186
	福祉健康学部	福祉学科	31	60	17	240	86
		こども学科	112	50	60	200	185
		健康スポーツ科学科	136	100	103	400	379
	看護学部	看護学科	196	80	75	320	296
	計		574	340	301	1,360	1,132
大学院	経営学研究科	修士課程 経営情報学専攻	0	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程 スポーツ健康科学専攻	5	5	5	10	7
	看護学研究科	修士課程 看護学専攻	6	5	5	10	8
	計		11	15	10	30	15
専攻科	助産学専攻科		30	10	7	10	7
合 計			615	365	318	1,400	1,154

(5) 収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福山大学	学 部	90.6	87.5	83.2	80.0	81.3
	大学院	40.0	35.7	31.3	27.8	30.4
福山平成大学	学 部	84.0	84.1	83.4	82.8	83.2
	大学院	26.7	26.7	33.3	33.3	50.0
	専攻科	100.0	70.0	90.0	90.0	70.0

(6) 役員の概要 (令和7年5月28日現在)

理事数 12名 理事定数 10名以上12名以内

役職名	氏 名	就任年月日	現職等	常勤・非常勤の別	担当する職務内容
理事長	鈴木 省三	H23. 5. 26	(学)福山大学理事長	常勤	法人を代表、業務を総理
常務理事 (業務執行理事)	尾崎 史郎	H28. 5. 27	(学)福山大学統括参事・福山大学参事	常勤	経営・財務・企画・産学連携
理事	大塚 豊	H29. 5. 26	福山大学長	常勤	経営・教育・研究・国際交流
理事	富士 彰夫	H24. 5. 27	福山平成大学長	常勤	経営・教育・研究・国際交流
理事	岡崎 文憲	H26. 5. 27	(学)福山大学参与・福山大学参事	常勤	財務・企画
理事	鶴田 泰人	H31. 4. 1	福山大学副学長・薬学部教授	常勤	教育・研究・地域連携・産学連携・国際交流
理事	川久保 和雄	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・経営学部教授	常勤	教育・研究・地域連携・産学連携・国際交流
理事	藺頭 里美	R 4. 5. 27	(学)福山大学事務局長・福山大学参事	常勤	財務・企画
理事	松本 茂太郎	R 3. 7. 22	福山ガス(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	小丸 成洋	R 1. 7. 20	福山商工会議所会頭 福山通運(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	小林 義和	R 5. 5. 24	(社福)一れつ会相談役	非常勤	経営・財務・地域連携
理事	秋山 智昭	R 2. 5. 27	弁護士	非常勤	コンプライアンス

監事数 2名 監事定数 2名

氏 名	就任年月日	常勤・非常勤の別
山本 昭人	R 5. 5. 24	常勤
前原 幸三	R 7. 5. 28	常勤

本法人は、令和2年度から私大協役員賠償責任保険制度(役員賠償責任保険)に、令和4年度から私大協役員賠償責任保険制度(サイバーリスク保険)に加入している。

1) 私大協役員賠償責任保険制度 (役員賠償責任保険)

団体契約者 日本私立大学協会

被保険者 記名法人 学校法人福山大学、個人被保険者 理事・監事、評議員

補償内容 学校法人におけるガバナンス体制構築の中核を担う学校法人の役員個人に対する賠償責任や争訟費用等を補償
支払限度額 5億円

2) 私大協役員賠償責任保険制度 (サイバーリスク保険)

団体契約者 日本私立大学協会

被保険者 学校法人福山大学

補償内容 サイバー攻撃やヒューマンエラーによる個人情報漏洩に起因した賠償責任や個人情報保護法の改正に伴って義務化された事項の対応に必要な各種費用を補償
支払限度額 賠償額1億円及び費用5千万円

(7)評議員の概要 (令和7年5月28日現在)

評議員数 13名 評議員定数 13名

氏名	就任年月日	現職等
永井 純子	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・福祉健康学部教授
伊丹 利明	R 4. 5. 27	福山大学副学長・生命工学部教授
吉留 義史	H28. 5. 27	福山平成大学副学長・事務局長
平 伸二	H28. 5. 27	福山大学副学長・人間文化学部教授
菅 正徳	R 7. 5. 28	福山大学卒業生
棗田 浩成	H30. 5. 27	福山大学卒業生・(株)三幸社 代表取締役社長
入鹿 泰彰	R 4. 5. 27	福山平成大学卒業生・(社福)敬友会あおざき勤務
占部 誠	H18. 5. 27	占部建設工業(株)代表取締役会長
村上 俊二	H28. 5. 27	青葉出版(株)代表取締役会長
吉田 大造	H24. 5. 27	製鐵原料(株)取締役会長
寺岡 晋作	H24. 5. 27	(株)RTホールディングス 代表取締役社長
森田 なつ子	R 7. 5. 28	福山平成大学名誉教授
谷本 隆治	R 7. 5. 28	(株)タニモト 代表取締役社長

(8)会計監査人の概要 (令和7年5月28日現在)

会計監査人 1名 会計監査人定数 1名

名称又は氏名 有限責任 あずさ監査法人 就任年月日 令和7年5月28日

(9)教職員の概要 (令和7年5月1日現在)

【福山大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
経済学部			15	6	11	2		34	81 ※法人職員を含む。
人間文化学部		1	12	11	8		2	34	
工学部			22	10	4	3	2	41	
生命工学部		1	22	5	6	1	9	44	
薬学部		1	19	9	5	3	8	45	
センター他	1		5	5	6	3	1	21	
計	1	3	95	46	40	12	22	219	81

(常勤教員 平均年齢 51.6歳 常勤事務職員等 平均年齢 48.6歳)

非常勤教員 142人 平均年齢 53.0歳 非常勤事務職員等 人数 19人 平均年齢 64.7歳

【福山平成大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
学長	1							1	21
経営学部		2	8	3	2			15	

福祉健康学部		1	17	6	11	3	1	39	
看護学部			10	4	7	4	3	28	
センター					1		1	2	
計	1	3	35	13	21	7	5	85	21

(常勤教員 平均年齢 54.2 歳 常勤事務職員等 平均年齢 48.1 歳)

非常勤教員 人数 94 人 平均年齢 54.1 歳 非常勤事務職員等 人数 1 人 平均年齢 51.0 歳

2. 事業の概要

(1) 大学教育改革等の推進

全学共通教育と専門教育、キャリア教育、資格取得教育など、教育の各側面に係る実践の質的向上を一層図り、必要な修学環境の整備に努めた。授業評価アンケートや卒業生アンケートの結果を授業改善に活かすとともに、学修成果の可視化をより進展させた。担任教員は個々の学生の可視化された学修成果をきめ細かい学生指導に役立て、大学及び各学部はPDCAサイクルを意識して、学科並びに大学全体としての教育目標達成度の判定に基づき、必要な改善を行った。さらに、福山大学ではブランディング推進のための研究プロジェクトへの学生の積極的参加を促し、全学部を挙げて「地域にとって頼りがいのある地域の知の拠点」となることを目指し、地域の未来を創る「未来創造人」として学生を育てることに全力を傾注した。

(2) 国家試験合格状況 (令和 8 年 3 月発表分)

第 40 回管理栄養士国家試験

福山大学生命工学部健康栄養科学科 新卒 11 人 / 15 人 (73.3 %)

第 111 回薬剤師国家試験

福山大学薬学部薬学科
 91 人 / 164 人 (55.5 %)
 内訳 新卒 68 人 / 95 人 (71.6 %)
 既卒 23 人 / 69 人 (33.3 %)

第 38 回介護福祉士国家試験、第 38 回社会福祉士国家試験

福山平成大学福祉健康学部福祉学科
 介護福祉士 新卒 3 人 / 3 人 (100.0 %)
 社会福祉士 新卒 8 人 / 8 人 (100.0 %)

第 115 回看護師国家試験、第 112 回保健師国家試験、第 109 回助産師国家試験

福山平成大学看護学部看護学科
 看護師 新卒 66 人 / 69 人 (95.7 %)
 保健師 新卒 11 人 / 14 人 (78.6 %)
 助産師 新卒 7 人 / 7 人 (100.0 %)

(3) 就職状況

(単位 : %)

大 学	学 部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福山大学	経済学部	98.6	99.6	99.6	100.0	99.5
	人間文化学部	100.0	100.0	100.0	96.3	100.0
	工学部	100.0	99.3	99.4	100.0	99.2
	生命工学部	99.4	99.4	100.0	100.0	100.0
	薬学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	99.5	99.6	99.7	99.4	99.7

福山平成大学	経営学部	100.0	97.7	100.0	97.7	100.0
	福祉健康学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	看護学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	100.0	99.6	100.0	99.6	100.0
(参考) 全国大学平均		95.8	97.3	98.1	98.0	98.0

(4) 広報活動の推進

福山大学及び福山平成大学のホームページ(公式WEBサイト)は、来訪者の目的に配慮した内容にするとともに高校生の両大学への興味、関心を高める動画コンテンツを充実させるなど適宜更新を行った。さらに、大学案内、入試のしおり、さん・サンメルマガ(年3回)、学報(年4回)の発行、テレビCM及び協賛広告、新聞広告、Web広告、バス、駅ホームや空港デッキへの看板広告、Instagramでの情報発信などを行うとともに新聞記事や情報番組での広報のため、市政記者クラブに学内の行事・トピックス等の情報提供を行った。

特に福山大学では、テレビCMや動画コンテンツの表現手法を見直し、大学全体のブランドイメージ向上を図った。さらに各学科の紹介動画を制作・拡充し、公式WEBサイトに掲載することで、学びの内容や教育環境を直感的に理解できるよう図った。福山平成大学では、「学生広報アンバサダー」が活動し、学生主体で大学行事や学生生活をInstagramなどに発信することで、受験生や地域に向けて大学の魅力を伝えた。

(5) グローバル化の推進

福山大学では、新たに開南大学(台湾)と大学間学術教育交流協定の締結を行い、協定校は14カ国・地域37大学となった。福山平成大学では、新たにプリンス・オブ・ソクラ大学(タイ)と大学間交流協定の締結を行い、協定校は3カ国3大学となった。

派遣・留学については、福山大学では、韓国での語学研修、インドネシアへの交換留学、経済学部における韓国、インドネシア、ニュージーランドでの海外研修及び生物科学科のラオス研修を実施し計56名の学生を派遣した。大学間学術教育交流協定に基づく受け入れは、転入学生が11名、交換留学生在が13名であった。大学教育センターが協定を結ぶインディアナ大学(米国)から英語ティーチングアシスタント1名を受け入れた。

福山平成大学では、米国での語学研修、経営学科のベトナム研修、こども学科のインドネシア研修、健康スポーツ科学科のオーストラリア研修、韓国研修及びデンマーク研修、看護学科のニュージーランド研修を実施し、計48名の学生を派遣した。

また、福山大学では、令和7年度より開始した文部科学省認定「備後・安芸圏域留学生就職・定着促進教育プログラム」として、令和7年10月24日に企業と大学との外国人学生に関する情報交換会を開催し、留学生求人を出している備後・安芸圏域の企業22社が参加した。

(6) 高等学校との高大連携の充実

福山大学では新たに広島県立賀茂高等学校を加え45校、1教育委員会と、福山平成大学では32校、1教育委員会と教育に関する交流協定を締結している。

教育ネットワーク中国主催の高大連携公開講座は、福山大学において94人、福山平成大学において17人の高校生が受講した。

大学研究室見学は、福山大学の11研究室に中・高校生32人の参加があった。高等学校への出張講義は、福山大学は4校、福山平成大学は7校で実施した。大学見学は、福山大学に7校302人、福山平成大学に8校351人が来学した。

(7) 地域社会との連携推進

学校法人福山大学社会連携推進センター、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターを拠点として学校、病院、地元企業及び自治体等の地域社会との連携を図った。

また、公開講座の開催、産学連携セミナーの開催、市民フォーラム(食と健康のライフサイエンス)の開催、松永駅前活性化プロジェクト(プロジェクトM)による地域住民との連携、じばさんフェア、ビジネス交流フェアへの参加や地元企業・行政等との受託・共同研究を引き続

き行っているほか、学校法人福山大学神辺駅前サテライトキャンパス（神な備）において、地域活性化のため共に学ぶ「新廉塾」を開設した。

さらに学校法人福山大学社会連携推進センターでは、令和6年4月に開設した「まなびステーション福山大学」において、生涯学習部門の中国語・中国文化講座は前後期とも9講座で募集を行い、前期は42名、後期は49名の受講があった。リスクリング部門は、前期は13講座、後期は14講座で募集を行い、前期は137名、後期は249名の受講があった。

(8) 寄附金募集活動の推進

学生の海外留学費用・国内外研修費用等のための海外留学等人材育成寄附金、学術研究、教育等の充実・発展のための研究・教育支援基金などの募集活動を推進し、福山大学では142件、福山平成大学では21件の寄附をいただいた。

なお、本法人は、これまでの「特定公益増進法人の証明」に加えて「税額控除に係る証明」を令和7年7月1日付で受けた。このことにより、寄附者が個人の場合に「税額控除制度」と「所得控除制度」のうち、寄附者にとって有利な制度を選択できることとなった。

(9) 施設、設備の整備・充実

施設としては、福山大学開学50周年記念行事として建設していた福山大学聚志館（ものづくり工房）が、令和7年7月に竣工した。

また、福山大学においては、文部科学省私立学校施設整備費補助金を活用した19・24号館講義室照明器具LED化工事、1号館1階講義室・5階教員室及び29号館3階北側空調機更新、1号館一般系統給水ポンプ更新、大学会館正面丸柱及びパラペット塗装改修工事並びにホール系統クーリングタワー取替、第一学生駐車場地面沈下修復工事、福山平成大学においては、文部科学省私立学校施設整備費補助金を活用した6号館（第一体育館）空調設置工事、11号館（第二体育館）アリーナLED照明更新、グラウンドウレタン舗装改修など、学校法人福山大学神辺サテライトキャンパスにおいては、和室畳更新を行った。

主要設備としては、保守対応期間終了による両大学の証明書発行機の更新、福山大学においては、文部科学省私立大学等研究設備整備費等補助金を活用した光脳機能イメージング装置とリアルタイムPCRシステムの購入、経年劣化等によるメディア・映像実習用スタジオ機器、蛍光顕微鏡画像解析システム、紫外可視分光光度計、卒業研究用ハイスpekパソコン、教室プロジェクタの更新、福山平成大学においては保守対応期間終了による基幹及び無線ネットワークシステムの更新の他、各種看護実習用機器等の新規導入などを行い、両大学における学生の学修環境の整備・充実を図った。

(10) 学校法人の業務の適正を確保するための体制(内部統制システム)の整備及び運用状況の概要

①内部統制システムの整備

令和7年3月5日に開催した学校法人福山大学評議員会及び学校法人福山大学理事会において、学校法人福山大学内部統制システム整備の基本方針を決定するとともに、令和7年4月1日施行の学校法人福山大学理事会運営規則、学校法人福山大学評議員会運営規則、学校法人福山大学監事監査規則、学校法人福山大学内部監査規則の制定を決定した。

②内部統制システムの運用状況

ア) 経営に関する状況

学校法人福山大学寄附行為、学校法人福山大学内部統制システム整備の基本方針、学校法人福山大学理事会運営規則、学校法人福山大学評議員会運営規則等に則り、理事会を令和7年5月14日、令和7年5月21日、令和7年5月28日、令和7年7月16日、令和7年10月17日、令和7年12月17日及び令和8年3月20日に、評議員会を令和7年5月21日、令和7年5月28日、令和7年7月16日、令和7年10月17日、令和7年12月17日に開催した。

なお、理事選任後の最初の理事会において、理事の担当業務を決定するとともに、理事長及び業務執行理事の職務執行状況について3月に1回理事会に報告した。

イ) 監査の状況

学校法人福山大学寄附行為、学校法人福山大学内部統制システム整備の基本方針、学校法人

福山大学監事監査規則、学校法人福山大学内部監査規則等に則り、監事監査及び内部監査を実施した。

監事の監査は、学校法人の業務及び財産の状況並びに理事の職務執行の状況について実施された。

ウ)その他

学校法人福山大学危機管理・対応規程、学校法人福山大学公益通報等に関する規程等に基づきリスクやコンプライアンスに関する体制を採っているが、危機管理の対象となる重大な事象や公益通報は生じていない。

(11)中期計画の進捗・達成状況

①福山大学、福山平成大学の「中期目標・中期計画」の進捗・達成状況

【福山大学】

「目的・使命」に関しては、建学の精神に沿って策定された目標を遵守し、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行った。

「教育」に関しては、厳格な成績評価をより推進するため、令和7年度入学生から GPA を Functional GPA へ変更した。また、副専攻制度の見直しを行い、令和7年度から「学際的副専攻（瀬戸内の里山・里海学コース）」1コースと「学術的副専攻（専門分野コース）」9コースを開設し、3年次生4名および2年次生12名の計16名が新たに履修を行った。

「学生支援」に関しては、担任制のきめ細かい指導に加え、インターンシップ及び企業説明会などのキャリア形成支援に努め、令和7年度も就職率99%以上を達成した。また、前年度新設した「障害学生支援室」と「障害のある学生対応委員会」により障害のある学生に対する支援、学生のニーズに合った対応を行った。

「学生受入れ」に関しては、入学者定員充足率が88.2%と前年度81.1%を上回った。また、今後の志願者の増加を図るため、令和9(2027)年度入学者選抜から、公募推薦型選抜（A日程・B日程）において、全学部で「外国語（英語）」を必須科目から選択科目に変更して、得意科目での受験ができるようにした。

「研究」に関しては、福山大学ブランドの研究プロジェクト「瀬戸内の里山・里海学」について、9つのテーマで研究が実施され、国内外の学術誌、学会での公表、地元メディアでの紹介など順調に推移している。また、科学研究費の採択数が48件（広島県の私立大学で第1位）、受託研究及び共同研究の受入数が26件であった。

「地域貢献」に関しては、一般市民向けの公開講座（統一テーマ「50周年記念：次世代へつなぐ～備後地域の未来創造とサステナビリティ～」）を5回開催した。社会連携センター高大連携部を中心として、広島県立賀茂高等学校と新たに教育交流協定を締結した。

「国際交流」に関しては、ソフィア大学（ブルガリア）との交流が順調に展開するとともに、新たな交流協定が開南大学（台湾）との間で締結された。また、在学中の各国留学生に関して、文部科学省認定の留学生就職促進教育プログラムである「備後・安芸圏域留学生就職・定着促進教育プログラム」が本格始動した。

「内部質保証」については、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について継続的に点検・評価し、改善・向上に取り組み、質の保証を行うことを目的として、「福山大学内部質保証に関する規程」を新たに制定した。同規程と「福山大学自己点検評価規程」に基づき自己点検評価を毎年実施して、令和13年度に予定している公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の受審に備えるようにした。

【福山平成大学】

「目的・使命」に関しては、引き続き建学の精神に基づく教育理念である「全人教育」「人間と自然を尊ぶ教育」「心情と愛の教育」「知行合一の教育」を堅持して、本学の教育にあたった。

「教育」に関しては、文部科学省に認定された数理・データサイエンス・AI教育プログラムを全学的に推進し、履修者数を着実に増加させた。また、教育のDX化に向けてFD研修会を開催し、ICTツール活用を促進した。

「学生支援・教育環境」に関しては、少人数教育の利点を最大限生かして、きめ細かい教

育・学生指導に努め、国家試験や資格試験の高い合格率や高い就職率を維持した。特に福祉学科では、社会福祉士国家試験で初の合格率100%、介護福祉士国家試験は9年連続合格率100%を達成した。看護学科・助産学専攻科では、看護師国家試験合格率95.7%、保健師国家試験合格率78.6%、助産師国家試験合格率100%であった。また、就職については就職率100%を達成した。

「学生受入れ」に関しては、効果的な学生募集活動の展開、ブランドの浸透、広報活動の充実のため高校訪問後の報告書等のデータベースの作成を行うなど情報共有の強化を図った。また、SNSを活用して大学広報を行っている学生広報アンバサダーが学生目線で大学の魅力を発信するなど広報強化を図った。

「研究」に関しては、FD研修会やFDワークショップなどを開催して研究支援を行い、また全学横断的な自主研究サークル「コンベルサ・ラウンジ」を継続開催して若手教員の研究意欲を高めた結果、科学研究費の応募が29件となり、そのうち5件が採択された。

「社会連携・国際交流」に関しては、毎年開催している高校生を対象とした英語プレゼンテーションコンテストは、多くの参加校・参加者を得て、地元高校に大きく貢献した。また、米国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、韓国、デンマーク、ニュージーランドへの海外研修を実施した。

「内部質保証」に関しては、専任教員が教育活動、研究活動、大学運営への貢献、社会連携・地域貢献活動について目標・計画書を作成し、当該年度末に達成状況を評価・自己点検を実施し、PDCAサイクルに活用する手順を確立した。また、毎年実施している卒業生及び卒業生の就職先企業等を対象としたアンケート調査を行い、集計・分析結果を教育改善に活用するよう努めた。

②教職員人事に関する状況

専任教職員数の総数は中期計画を若干下回るものの、専任教員数（助手を除く。）は、福山大学は197名、福山平成大学は80名で、設置基準を福山大学は26名、福山平成大学は7名上回っている。

③施設整備計画に関する進捗状況

福山大学聚志館（ものづくり工房）は、令和7年7月に竣工した。

講義室等の整備・充実（LED照明化他）については、福山大学19・24号館講義室のLED化、福山平成大学11号館（第二体育館）アリーナLED照明更新を行った。

また、修学環境の整備・充実については、福山大学第一学生駐車場地面沈下修復工事、福山平成大学6号館（第一体育館）空調設置工事などを行った。

④財務計画に関する進捗状況

令和7年度の基本金組入前当年度収支差額を470,995千円の支出超過と見込んでいたが、学生生徒等納付金収入の減等により1,408,903千円の支出超過となった。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	58,017,187	57,662,248	56,592,472	55,588,816	55,083,826
流動資産	5,266,079	5,031,827	4,869,400	4,752,725	4,314,852
資産の部合計	63,283,266	62,694,075	61,461,872	60,341,541	59,398,678
固定負債	2,006,898	1,896,514	1,805,655	1,860,392	2,378,118
流動負債	2,538,928	2,435,750	2,198,436	2,279,661	2,227,974
負債の部合計	4,545,826	4,332,264	4,004,091	4,140,053	4,606,092
基本金	55,354,235	55,233,881	55,245,221	56,090,290	56,208,422
繰越収支差額	3,383,205	3,127,930	2,212,560	111,198	△1,415,837
純資産の部合計	58,737,440	58,361,811	57,457,781	56,201,488	54,792,586
負債及び純資産の部合計	63,283,266	62,694,075	61,461,872	60,341,541	59,398,678

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

イ) 財務比率の経年比較

比 率	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産構成比率	91.7%	92.0%	92.1%	92.1%	92.7%
有形固定資産構成比率	49.7%	49.2%	50.1%	52.8%	53.4%
特定資産構成比率	41.9%	42.7%	41.9%	39.3%	39.3%
流動資産構成比率	8.3%	8.0%	7.9%	7.9%	7.3%
固定負債構成比率	3.2%	3.0%	2.9%	3.1%	4.0%
流動負債構成比率	4.0%	3.9%	3.6%	3.8%	3.8%
内部留保資産比率	42.6%	43.5%	42.9%	40.0%	38.2%
運用資産余裕比率	3.9年	4.1年	3.9年	3.6年	3.1年
純資産構成比率	92.8%	93.1%	93.5%	93.1%	92.2%
繰越収支差額構成比率	5.3%	5.0%	3.6%	0.2%	△2.4%
固定比率	98.8%	98.8%	98.5%	98.9%	100.5%
固定長期適合率	95.5%	95.7%	95.5%	95.7%	96.3%
流動比率	207.4%	206.6%	221.5%	208.5%	193.7%
総負債比率	7.2%	6.9%	6.5%	6.9%	7.8%
負債比率	7.7%	7.4%	7.0%	7.4%	8.4%
前受金保有率	216.3%	218.3%	235.2%	200.6%	228.6%
退職給付引当特定資産保有率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
基本金比率	99.3%	99.4%	99.5%	99.4%	98.5%
減価償却比率	52.4%	53.8%	54.6%	54.1%	55.1%
積立率	123.8%	122.4%	117.8%	110.1%	103.2%

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	5,743,599	5,554,434	5,336,857	5,045,163	5,129,295
手数料収入	96,021	89,671	83,510	88,123	79,894
寄付金収入	29,445	25,957	12,895	31,166	39,423
補助金収入	1,021,742	1,166,520	1,010,267	998,640	1,621,186
資産売却収入	0	400	0	0	580,920
付随事業・収益事業収入	65,803	57,601	50,898	56,984	49,105
受取利息・配当金収入	63,115	51,733	56,181	58,177	81,450
雑収入	310,821	204,775	239,816	167,406	298,485
借入金等収入	0	0	0	0	600,000
前受金収入	2,268,477	2,176,218	1,932,641	1,988,436	1,728,433
その他の収入	15,742,004	14,786,254	7,433,768	13,306,254	9,734,275
資金収入調整勘定	△2,614,054	△2,432,274	△2,388,202	△2,076,549	△2,317,500
前年度繰越支払資金	5,011,201	4,905,904	4,751,155	4,544,859	3,988,253
収入の部合計	27,738,174	26,587,193	18,519,786	24,208,659	21,613,218

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

支出の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	4,002,768	3,843,189	3,943,602	3,892,382	4,082,450
教育研究経費支出	2,843,934	2,385,941	2,432,716	2,426,817	2,992,121
管理経費支出	276,422	291,145	317,387	304,815	322,201
借入金等利息支出	5,659	4,748	3,837	2,926	5,844
借入金等返済支出	47,760	47,760	47,760	47,760	47,760
施設関係支出	215,955	212,518	779,256	1,644,024	667,805
設備関係支出	796,971	261,792	149,071	469,212	255,399
資産運用支出	12,300,000	12,303,054	3,906,336	9,043,851	7,993,644
その他の支出	2,463,472	2,588,540	2,486,189	2,618,376	1,365,857
資金支出調整勘定	△120,671	△102,648	△91,227	△229,756	△70,381
翌年度繰越支払資金	4,905,904	4,751,154	4,544,859	3,988,252	3,950,518
支出の部合計	27,738,174	26,587,193	18,519,786	24,208,659	21,613,218

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金 収入計	7, 215, 394	7, 079, 958	6, 719, 612	6, 356, 556	7, 158, 252
教育活動資金 支出計	7, 123, 124	6, 520, 274	6, 693, 706	6, 624, 013	7, 396, 772
差引	92, 270	559, 684	25, 906	△267, 457	△238, 521
調整勘定等	△229, 964	△41, 795	△265, 828	126, 218	△485, 531
教育活動資金収支 差額	△137, 694	517, 889	△239, 921	△141, 239	△724, 052
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動 資金収入計	12, 159, 655	8, 059, 314	4, 901, 331	9, 929, 844	6, 360, 510
施設整備等活動 資金支出計	12, 312, 926	8, 784, 224	4, 828, 327	10, 613, 235	6, 902, 005
差引	△153, 271	△724, 910	73, 004	△683, 391	△541, 495
調整勘定等	4, 203	16, 176	△40, 659	94, 821	△26, 791
施設整備等活動 資金収支差額	△149, 068	△708, 734	32, 345	△588, 570	△568, 286
小計（教育活動資金収 支差額＋施設整備等活 動資金収支差額）	△286, 762	△190, 845	△207, 576	△729, 809	△1, 292, 338
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金 収入計	3, 588, 903	6, 563, 752	2, 439, 451	3, 253, 529	4, 551, 363
その他の活動資金 支出計	3, 407, 438	6, 527, 657	2, 438, 171	3, 080, 326	3, 296, 759
差引	181, 465	36, 095	1, 280	173, 203	1, 254, 603
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金 収支差額	181, 465	36, 095	1, 280	173, 203	1, 254, 603
支払資金の増減額（小 計＋その他の活動資金 収支差額）	△105, 297	△154, 750	△206, 296	△556, 606	△37, 735
前年度繰越支払資金	5, 011, 201	4, 905, 904	4, 751, 154	4, 544, 858	3, 988, 253
翌年度繰越支払資金	4, 905, 904	4, 751, 154	4, 544, 858	3, 988, 252	3, 950, 518

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

ウ)財務比率の経年比較

比 率	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
教育活動資金収支 差額比率	△1.9%	7.3%	△3.6%	△2.2%	△10.1%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	5,743,599	5,554,434	5,336,857	5,045,163	5,129,295
	手数料	96,021	89,671	83,510	88,123	79,894
	寄付金	13,156	22,179	12,975	31,166	39,718
	経常費等補助金	986,209	1,151,520	995,636	967,714	1,562,051
	付随事業収入	65,803	57,601	50,898	56,984	49,105
	雑収入	310,905	204,777	239,824	167,425	298,485
	教育活動収入計	7,215,693	7,080,182	6,719,700	6,356,575	7,158,547
	事業活動支出の部					
	人件費	3,909,161	3,794,413	3,936,357	3,908,038	4,071,144
	教育研究経費	3,780,044	3,367,636	3,387,729	3,398,067	4,004,174
	管理経費	339,877	355,387	374,697	358,101	368,049
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	8,029,082	7,517,436	7,698,783	7,664,206	8,443,366
	教育活動収支差額	△813,389	△437,254	△979,083	△1,307,631	△1,284,820
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	63,139	53,891	60,505	62,489	87,425
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	63,139	53,891	60,505	62,489	87,425
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	5,659	4,748	3,837	2,926	5,844
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	5,659	4,748	3,837	2,926	5,844
	教育活動外収支差額	57,480	49,143	56,667	59,563	81,582
経常収支差額		△755,909	△388,111	△922,416	△1,248,068	△1,203,238
事業活動収入の部						

特別 収 支	資産売却差額	0	400	0	0	0
	その他の特別収入	54,155	20,689	20,512	34,374	64,648
	特別収入計	54,155	21,089	20,512	34,374	64,648
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	365,965	8,607	2,127	42,598	2,613
	その他の特別支出	0	0	0	0	267,700
	特別支出計	365,965	8,607	2,127	42,598	270,313
	特別収支差額	△311,810	12,482	18,385	△8,224	△205,665
基本金組入前当年度収支差額		△1,067,719	△375,629	△904,030	△1,256,292	△1,408,903
基本金組入額合計		△150,000	0	△11,339	△845,070	△118,132
当年度収支差額		△1,217,719	△375,629	△915,369	△2,101,362	△1,527,035
前年度繰越収支差額		3,541,187	3,383,205	3,127,930	2,212,560	111,198
基本金取崩額		1,059,737	120,354	0	0	0
翌年度繰越収支差額		3,383,205	3,127,930	2,212,560	111,198	△1,415,837

(参考)

事業活動収入計	7,332,987	7,155,162	6,800,717	6,453,439	7,310,621
事業活動支出計	8,400,706	7,530,791	7,704,747	7,709,731	8,719,524

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

イ) 財務比率の経年比較

比 率	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費比率	53.7%	53.2%	58.1%	60.9%	56.2%
人件費依存率	68.1%	68.3%	73.8%	77.5%	79.4%
教育研究経費比率	51.9%	47.2%	50.0%	52.9%	55.3%
管理経費比率	4.7%	5.0%	5.5%	5.6%	5.1%
借入金等利息比率	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
事業活動収支差額比率	△14.6%	△5.2%	△13.3%	△19.5%	△19.3%
基本金組入後収支比率	117.0%	105.2%	113.5%	137.5%	121.2%
学生生徒等納付金比率	78.9%	77.9%	78.7%	78.6%	70.8%
寄付金比率	0.4%	0.4%	0.3%	0.5%	0.6%
経常寄付金比率	0.2%	0.3%	0.2%	0.5%	0.5%
補助金比率	13.9%	16.3%	14.9%	15.5%	22.2%
経常補助金比率	13.5%	16.1%	14.7%	15.1%	21.6%
基本金組入率	2.0%	0.0%	0.2%	13.1%	1.6%

減価償却額比率	12.4%	13.9%	13.1%	13.4%	12.5%
経常収支差額比率	△10.4%	△5.4%	△13.6%	△19.4%	△16.6%
教育活動収支差額比率	△11.3%	△6.2%	△14.6%	△20.6%	△17.9%

(2) その他

①有価証券の状況

(単位：千円)

種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	7,978,548	7,751,989	△226,558
投資信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	7,978,548	7,751,989	△226,558
時価のない有価証券	600,000		
有価証券合計	8,578,548		

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

②借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高	利率	返済期限	借入対象資産
日本私立学校振興・共済事業団	22,770	年 2.1%	R 8. 9. 15	福山平成大学看護学部棟
日本私立学校振興・共済事業団	34,220	年 1.7%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
日本私立学校振興・共済事業団	15,760	年 1.8%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
日本私立学校振興・共済事業団	600,000	年 1.7%	R17. 9. 15	福山大学聚志館 (ものづくり工房)
合 計	672,750			

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

③学校債の状況

学校債は発行していない。

④寄付金の状況

(単位：千円)

寄付金の種類	金 額
特別寄付金	39,338
一般寄付金	85
現物寄付	5,808
計	45,231

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

⑤補助金の状況

(単位：千円)

補助金の種類	金 額
国庫補助金	1,618,190
地方公共団体補助金	2,996
その他	0
計	1,621,186

(注) 金額は千円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

⑥収益事業の状況

私立学校法に規定する収益事業は行っていない。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

該当取引なし。

イ) 出資会社

該当取引なし。

⑧学校法人間財務取引

該当取引なし。

⑨経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

令和7年度決算において、運用資産余裕比率は、3.1年で全国平均(令和6年度)1.5年の2.1倍であるものの、教育活動資金収支差額は、ここ3年赤字が続いているところであり、その解消に努める。

そのためには、収容定員充足率の向上による安定した学納金の確保、経費削減や効率的支出を行いつつ、快適な修学環境の維持・向上、大学の魅力を的確に伝えるための広報活動の充実などが必要である。

令和3年度以降収容定員充足率が低下しているが、その要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で募集活動の展開が困難であった(対面によるオープンキャンパスや高校訪問等を中止した)ことなどが考えられる。令和7年度には入学生数がある程度持ち直したが、今後ともより一層の積極的な募集活動の展開や広報活動の充実などを行い、受験者、入学手続き者、入学者の増加を図り、安定した学納金収入を目指す。

4. その他

附属明細書で補足すべき事項はない。

参考 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況（令和8年5月1日現在）

【福山大学】

（単位：人）

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経済学部	経済学科	318	180	152	710	644
		国際経済学科	23	40	13	170	83
		税務会計学科	49	50	28	200	150
	人間文化学部	人間文化学科	109	50	49	200	182
		心理学科	106	70	62	260	272
		メディア・映像学科	71	50	36	200	197
	工学部	電気電子工学科	40	30	19	120	50
		建築学科	101	70	51	280	222
		情報工学科	130	60	46	230	204
		機械システム工学科	44	50	17	200	60
	生命工学部	生物科学科	90	50	22	200	83
		健康栄養科学科	35	40	18	170	99
		海洋生物科学科	359	110	143	430	494
	薬学部	薬学科(6年制)	303	110	87	780	582
	計		1,778	960	743	4,150	3,322
大学院	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	2	8	2	16	6
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	19	10	8	20	14
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	7	2	5	4	7
		修士課程 建築学専攻	2	3	2	6	4
		修士課程 情報処理工学専攻	1	2	0	4	2
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0
		博士前期課程 生命工学専攻	2	8	2	16	2
		修士課程、博士前期課程 計		33	35	19	70
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	0	2	0	6	0
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0
		博士後期課程 生命工学専攻	0	4	0	12	1
	薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	1	3	1	12	4
	博士課程、博士後期課程 計		1	14	1	45	5
	計		34	49	20	115	40
合 計		1,812	1,009	763	4,255	3,362	

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経営学部	経営学科	98	50	60	200	207
	福祉健康学部	福祉学科	30	60	16	240	83
		こども学科	98	50	56	200	193
		健康スポーツ科学科	99	100	73	400	353
	看護学部	看護学科	197	80	82	320	297
	計		522	340	287	1,360	1,133
大学院	経営学研究科	修士課程 経営情報学専攻	0	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程 スポーツ健康科学専攻	0	5	0	10	6
	看護学研究科	修士課程 看護学専攻	0	5	0	10	6
	計		0	15	0	30	12
専攻科	助産学専攻科		25	10	6	10	6
合 計			547	365	293	1,400	1,151

収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
福山大学	学 部	87.5	83.2	80.0	81.3	80.0
	大学院	35.7	31.3	27.8	30.4	34.8
福山平成大学	学 部	84.1	83.4	82.8	83.2	83.3
	大学院	26.7	33.3	33.3	50.0	40.0
	専攻科	70.0	90.0	90.0	70.0	60.0